

# 2023年度

## 保育科の教育活動に関するアンケート

### (卒業年次アンケート 分析結果)

#### 1. 授業（学修）に関すること

科目数（Q6）：5点満点中3.96点）や時間割編成（Q7）…3.51点）に対する満足度は、本調査開始以降はじめて4点（やや満足）を下回った。同様にQ11の総合満足度も低く、3.86点に留まっている。Q12の意見・要望では「もっと学生の意見を取り入れて欲しい」「教員間の指導内容共有に基づく授業運営」「クラスルーム（オンライン環境）の不具合解消」などが挙げられている。

他方、Q8：印象に残っていることとしては、身体表現や保育・教職実践演習など例年と同様の活動が多く挙げられた。在学中に勉強したかったこと（Q9）では、音楽（ピアノ）や乳児保育、海外の保育、書類仕事などの業務、子どもの安全などが挙げられている。このような声も丁寧に聞き上げながらカリキュラム編成をしていきたい。また、Q12（意見・要望）では「授業評価アンケートのセメスター途中での実施」を要望する声も挙がった。セメスター途中での授業評価の実施により、授業改善が早期に生かされることを意図したものである。これら学生の意見を真摯に顧みた授業運営を意識していきたい。

#### 2. 学生生活に関すること

##### （1）教職員の学生対応やクラス制、友人関係に関すること

友人関係（Q13）やクラス制（Q14）に対する満足度は5点満点中4点以上であり、例年と同様比較高い。しかし、担任制（Q15）や教員の学生対応（Q16）教職員の学生対応に対する満足度は例年よりも低かった。「決めつけや偏見をうかがわせる対応」への意見も挙げられており、授業運営と同様に、教員の学生対応についても丁寧な振り返りを実施する必要がある。

##### （2）施設や設備に関すること

また、バス（スクールバスを含む）の運行時間や本数（Q18）に対する満足度は3点（普通）を下回っており、早急な改善が求められる。例年と同じく「スクールバスの無料化」や「増便」に関する要望も寄せられた。さらに、教室に関する意見も多く、大画面モニターへの新調や空調設備の修繕などの受講環境の改善を求める声が上がっている。

#### 3. 就職支援に関すること

進路総合センターの職員による就職指導への評価（Q27）は5点満点中4.08点と比較的高かったが、教員の就職指導（Q26）や就職ガイダンス（Q28-2）に関する満足度は4点を下回っている。学生の評価が低かった項目については、教員間でも振り返りを実施したい。

#### 4. 総合的に振り返って

以上のように、本年度は、授業運営や学生生活（施設・設備を含む）に対する満足度が例年よりも低く、本学に対する総合満足度（Q29）も低かった（5点満点中3.92点）。本学に対する意見・要望も同様であり、教員の学生対応や教室環境、スクールバス増便などの改善意見が挙げられている。

その一方、学生が捉えている「コマジョらしさ」としては、「元気」「楽しい」などの良い雰囲気や「教員との距離感が近い」「豊かな自然がある」「表現力」「仏教学」など、例年と変わらない肯定的な内容が挙げられていた。このような「良さ」を失わないためにも、今回の調査で挙げられた改善意見を踏まえ、より充実した授業運営、学生生活支援を努めていきたい。